

グルック作曲

「オルフェオとエウリディーチェ」

(オッフエンバック作曲「天国と地獄」の **オルフェ** と **ユリディス** と同一人物)

第1幕「墓地」



古代ギリシャ。夫婦で幸せに暮らしていたリラ（堅琴）弾きの天才 オルフェ。

ある日、妻のユリディスが命を落としてしまう。絶望するオルフェの前に

現れたのは神々の王 ジュピターの使いで来た恋の神 キューピッド。神々がオルフェの深い愛に心打たれ、地獄への渡航を許可したと告げる。ただし、地上へ戻るまで決して妻の顔を見てはならず、理由も話してはならないと言う。



第2幕「黄泉の国の入り口」

地獄への道中、様々な困難が立ち上がるがオルフェはその素晴らしい歌声とリラの腕前で皆を味方につけ、地獄の門に到着。

第3幕「黄泉の国-死者の楽園」

門をくぐると、地獄とは思えぬ美しい景色の中、地獄の王 プルトンがユリディスを連れてくる。

第4幕「地上への道行」



再開を果たし安堵するオルフェだが、キューピッドの忠告を思い出すと、急いで視線をそらす。二人は地上を目指して歩き出す。ユリディスは、彼が自分を見てくれないため、二人の愛が失われてしまったのだと嘆く。思わず振り向いてしまうオルフェ。その瞬間、彼女は消えてしまう。



一縷の望みを断たれたオルフェのもとに再びキューピッドが現れ、彼の深い愛に免じユリディスを黄泉の国から呼び戻す。



神々に祝福された二人は、共に地上へと戻り幸せに暮らしました。



このおはなしを、皮肉たっぷり、面白おかしいドタバタ喜歌劇として描き直した1858年初演の**オッフエンバック作曲「天国と地獄」**。一体どんな違い、共通点があるのか...はぜひ、びわ湖ホール 中ホールで！

構成・絵 事業部 シモダ ハルカ